

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102113		
法人名	医療法人社団 静隆会		
事業所名	グループホーム 市野の家 1号館		
所在地	静岡県浜松市東区市野町287-1		
自己評価作成日	令和1年5月8日	評価結果市町村受理日	令和1年7月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2277102113-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2277102113-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和1年6月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一号館の特色として「個々のできる力」を活かせるよう、洗濯干しや洗濯物たたみ等食事に関しては野菜の皮むき、筋取り、お盆並べやコップお箸のセット等軽作業に関しては、畑作業、収穫、草取りや自室の掃除、等生活の延長線上にある家事に関わる軽作業や活動を毎日行っています。ご家族から「できる事は何でも自分でして欲しい」と言う思いを受け止め、このような個々に見合った活動を日々行い、毎日楽しく健康に過ごせるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「人を育てていく」という使命を管理者やリーダーの言動から受けとめることができる、気持ちの良い事業所です。2名の外国人職員を筆頭にその人の個性や特長を踏まえたマンツーマン指導がベースにあり、例えば「会話は少しできる」人と「読み書きはできないが母国での看護師資格をもつ」職員を組む等、ペアでのOJTで介助方法の凸凹を減らしたり、また得意なもので活躍できるように支援しています。昨年来からの身体拘束適正化検討委員会では「指導感が滲んだり、抑圧的な言い方になぜなるのか？」と根源的な領域まで及んで協議できていて、声掛けの工夫で利用者が体操や外気浴に積極的となった嬉しい成果も生まれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔、優しい対応、家庭のぬくもりと、心の触れ合いを大切に」という市野の家の理念を職員一人ひとりが共有し、地域の皆様との交流を大切にしていきたいと思えます。	理念に基づいた話を管理者が個別の面談や定例会で意図的にふっていて、職員は意識継続が叶っています。総じて職員は利用者の性格や意向を把握しており、特に2号館では「本人がこうしたらいんじゃないか」というのをカードで可視化して、テーブルに貼っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しておりますので、地域の行事のお祭りや敬老会にも参加させていただいております。	自治会長と民生委員が運営推進会議を通じて、地域とつながる要となつてくださっていますが、地域との行き来そのものは活発とはいえません。ただし、周囲に点在する店舗を活用した買い物レクは折々に実現していて、「地域資源を利用する」ということはできています。	近隣の保育園や子ども園との関係がつけられるよう、一度挨拶に出向くことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける運営推進会議等で地域の方々と認知症の方々を理解して頂ける機会を設けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、職員も出来る限り参加し、サービスの取り組みの発表をさせて頂いております。また、地域の方やご家族に意見やご指摘を頂ける雰囲気を作るように心掛けております。	2ヶ月に1度の開催が滞りなくできていて、行政の出席も得ています。話し合いの中心となるのは自治会長と民生委員ですが、「職員も視野を広げて運営に関わってほしい」との管理者の考えから、毎回4、5名の職員参加が見られています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者とは定期的に連絡をし、お話しさせて頂き、情報交換や相談を行っております。	運営推進会議への市役所の出席は年1回程度ですが、高齢者相談センター(地域包括支援センター)職員は毎回足を運んでくださり、また新規入居者の紹介もあります。感染症対策をはじめ事業所の疑問点や質問にも気軽に回答くださり、助けられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロを掲げておりますので、日々の業務において、絶対に拘束がないようにケアを行っております。	昨年4月の法改正に順じて身体拘束適正化検討委員会を設置し、年4回の委員会開催も無事終えています。「指導感が滲んだり、抑圧的な言い方になぜなるのか？」と根源的な領域まで及んだ協議があり、声掛けの工夫で利用者の活動が積極的になった嬉しい例も生まれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	セミナーや各種講習への参加経験を基にして、常に情報交換をし、介護の質や虐待への理解向上に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者のご家族が後見人制度の手続きをされたい時には、関係機関へのご紹介や、制度の説明をさせて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明の重要性を十分に理解し、入居者様とご家族に疑問点が残らないように心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での皆さんからの意見や、面会に来られた際には、気兼ねなく意見を頂き、改善した点をご報告させて頂いております。	総じて利用者からは自発性が感じられます。65歳、介護度2の男性利用者が「ここを出て働きたい」との要望を発しているケースでは、「小規模多機能に併設された住いがある施設で就労継続支援B型に通うのはどうか」と探すとともに、家族の意見を鑑みて対応方法を工夫しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を月に一回行っており、意見や質疑を交換しております。	職員教育に力をいれていることで、自然に個別面談や定例会で管理者が一人ひとりに投げかけることが重なり、職員が言いやすい環境に成っています。独自に各ユニットで新採者の教育メソッドもあって、職員からも「働きやすい職場」「チームワークが良い」との声が上がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	認知症についての知識を積極的に学び、意見を交換する環境を整えることにより、向上心の持てる職場を目指しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修は全員参加し、新たな情報や知識を共有する環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との繋がりを大切にし、頻りに意見の交換をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今迄過ごしてきた環境や生活歴を参考に、信頼関係を築き安心した生活が送れるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時、ご本人やご家族からの要望や困っている事、不安な点等は、傾聴をしケアプランに盛り込み対応するよう心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意向を重視し、希望に添った支援が出来るよう努めています。また、ケアプランの内容確認をして頂き、ご指摘があればスムーズに改善させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の気持ちを重視し思いやりの心を持って接し、家庭のぬくもりと心の触れ合いを大切にしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族本人の思いを念頭に置き話し合いを持ちながら、より良い支援が出来るよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活歴や関係者からの情報を参考に、会話の中に馴染みの人や場所などを取り入れながら会話を広げ、なじみ関係が途切れないよう支援をしています。	携帯はトラブルが以前にあって制限していますが、家族や友人とは面会とともに事業所の電話を活用してもらうことで関係継続につなげています。将棋好きな人には孫が自転車で訪れ相手となってくれ、職業画家だった人は絵筆をふるい、また馴染みの新聞を購読する人も2名います。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者同士は、温かく見守りながら支援し、マイペースな方にも自然と輪の中に入れるような場の提供を心掛けております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了した家族に対して、今後も相談や困ったことがあればいつでも連絡して下さい、と話しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	表面的な部分だけを見るのではなく、その人の内面もよく理解していくことを大切にしています。	職員は傾聴を心掛け、利用者のことは「経過記録」、家族のことは「相談記録表」に記して共有しています。「館長さん、夜勤のときビール飲みましょう」と声をかけてくる利用者はオープンな態勢を現わす一例として、利用者がのびのびと暮らしているという雰囲気がフロアに満ちています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人のサマリーなどを参考にしながら、今の生活状況他、職員との意見交換などをして一人ひとりの利用者様のなじみの暮らし方やサービス利用経過を知る事に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の中で、一人ひとりの利用者様の小さな変化にも気を配り、皆様が穏やかに暮らせるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の心身状態等の変化が見られた時は、詳しく申し送りをしてカンファレンスなどを行い、より良いケアが見出せるよう話し合いをしています。	介護記録には2表が挟み込まれ、職員は日々目にするとともにコメント欄への記入をおこない実践につなげています。3号館は介護支援専門員兼務で各ユニットに計画作成担当者がいて、他にも3名が実践者研修を修了している充実ぶりで、介護計画書の理解共有が図られています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の経過記録のチェックをして一人ひとりの心身状態を正確に把握し、職員間でその事項を共有しながら疑問点を残さないようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況によって、決められたケアとは違ってその人にとって一番いいと思われるケアなら、実践して報告し話し合っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	学生さんがボランティアに来てくれたり、音楽や踊りのボランティアさんに楽しませてもらったりして入居者様も一緒にコミュニケーションを取り、喜ばれています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要に応じた受診・検査等、家族の方と連絡を取り、理解と承諾をして頂き、その利用者様にとって必要な受診を行っています。	協力医は2つあり、訪問診療をおこなう医院が必要となった際にそこへと変更した人は4名います。近年は協力医の紹介で入居した人も多くいて、変更を含み結果として23名が2つの内いずれかの協力医です。情報は「診療録」に記載し、急ぎでなければ面会時に家族に伝えています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師には小さなことでも報告をして、それに応じた処置などの指示をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病気で入院する事になっても、すべて病院にまかせきりでは無く、面会に行ったり、関係者から状態を聞いたりして相談ののって頂いております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族との話し合いの中で、家族の気持ちを良く理解しその願いを尊重しながら、利用者様の尊厳を大切に考えております。	「食事が摂れない」「医療行為が必要」となれば此処で暮らすのは難しいことを契約時に家族に説明しており、合意しています。大抵は入院か移設となっておりますが、看取りでは「連絡はとれるようにしてほしい」ことは家族にお願いしていて、緊急搬送の際に必要な書面も用意があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日常的な疾患の対処法を、看護師等と話し合ったり、カンファレンス時にその得た専門知識や処置方法を皆で共有し、即戦力になれるよう努力しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害に対して普段からの訓練を身に付けて、想定内外を問わず頭に入れて、シュミレーションを行っております。	自治会長とは「何かあれば利用者は公民館へ」「水害では地域住民を事業所に」といった口頭協定が結ばれ、年2回の法定訓練の内1回は夜間想定や水害対策を盛り込んで有事に備えています。また新採者には必ず防災(通報・避難・初期消火)のレクチャーをおこなっています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、人生の先輩としての誇りを汚さぬよう配慮し、プライバシーを損なわないような声掛けや言葉遣いで支援するよう心掛けています。	「カレンダーが欲しい」利用者には職員が手伝い作ったという日めくりが下がる部屋もあり、それぞれに演歌を聞いたり、日記を書いたりする居室は、過ごしやすいよう職員が支援しています。また食器拭きは取り合いになりそうな勢いのため、それぞれが納得できるよう配慮しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の気持ちを大切にし、汲み取りながら、思いや希望に添った支援をしたり、自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合や決まりは押しつせず、個々のペースや体調に配慮し、その日をどう過ごすのか相談し、出来るだけ希望に添った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個性を大切にし、その人らしい身だしなみやおしゃれが楽しめるよう支援をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味付け・盛り付けはもちろんですが、個々にあった食事形態(お粥・軟飯・キザミ・ミキサー食等)を提供しています。野菜の皮むきなどの軽作業やお盆セット等出来る事は利用者様と一緒に準備をしています。	朝食は手作りですが、昼・夕は調理済の献立が運ばれてきて、利用者の状態に応じて職員が刻みやミキサーにしています。ネギトロ丼や刺身丼、餃子と、利用者の意向にそっての調理レクや、ホットプレートでのBBQ、チョコレートファウンテンタワーといった食イベントも盛んです。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分量を常に記録し、個々の病気の状態や体調にも気を配り、支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・食後の歯磨きの声掛け・見守り介助、義歯の洗浄を行っています。週に1度の消毒も欠かさず行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄の習慣を把握しトイレ誘導・声かけ・介助を入居者様毎に行っています。、夜間オムツ使用の入居者様にも、日中リハビリパンツで対応できる方にはパンツで対応し、自立に向けた支援を行っています。	平均介護度2.3で、「座位が保てる」「立ち上がりが可能」な人ばかりのため、現在は職員1名で対応できています。3ヶ月毎におこなうモニタリングで一人ひとりについて協議していて、その中で排泄改善にも触れ、向上につながった例もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便があった日にはチェックをし、職員間で状況を把握しています。散歩、体操等の声掛けをし、個々に応じた飲食物の工夫(ヨーグルト・牛乳・バナナ等)随時提供しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴前に必ずバイタルチェックをし、その日の体調に注意しながらご本人の希望があれば出来るだけ入って頂けるよう支援しています。	「入りたくない」とか「入れない」とかがあれば翌日等に切り替えて週2、3回を目安に入浴できており、先ずは汚染や回数の少ない人を優先してはいますが、「入りたい」希望にも応えています。大きな浴槽に仲良しで入ったり、柚子湯やお茶風呂などの変わり湯の日もあります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室や共有スペースのソファで自由に休息をして頂き、夜間は一人ひとりの習慣や状況に応じ安心して気持ち良く眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬の目的や副作用・用法・用量について把握し、誤薬予防の為4人体制で3回の服薬確認を行っています。また症状の変化の確認・記録をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る事・好きな事を探しながら、日々の生活の中での楽しみ・役割・生きがいを見つけ出し、その時々に応じて嗜好品(コーヒー・ジュース・ビール・あんぱん等)を楽しんで頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り本人の希望に添って買い物や散歩など外出をして頂いております。	散歩は遠出はなく、敷地内の畑などをグルッと廻って外気浴をする程度ですが、中には畑が好きで草取りをする利用者もいます。チェーンショップの洋服屋、薬局などでカートを押しながら職員と歩を進めたり、受診時に家族が買い物や外食へと連れて行ってくださる場合もあります。	「あそこへ行きたい」の個別外出の充実がさらに進むことを期待します。



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	しまい込みや紛失・盗難の恐れがある為、普段は職員が金庫を管理していますが、買い物に出掛けた際には職員が見守る中、本人にお任せしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用・手紙のやり取りも自由にして頂いています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に見合った掲示物を利用者様と作成し、掲示したり、花壇や畑へ季節の花々や苗(さつまいも・ジャガイモ・エンドウ・胡瓜・ナス等)を植えて季節感を楽しんでおります。	外国人職員は御国柄なのかカラフルでファッショナブルな壁装飾が得意で、共用空間を彩っています。整理整頓への配慮も感じられ、職員手作りの行き先表示が必要に応じて配され、時計も目の高さにおかれています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの位置や食卓テーブルの位置など気の合う同士で快適に楽しく過ごして頂けるよう環境を整え、席の配置にも気を配っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんだ家具や衣類・お箸等、本人や家族と相談しながら整えていただき、生活しやすい環境を作り居心地よく過ごせる工夫をしています。	動物が好きなのか犬をモチーフとしたものが至るところに並べられていたり、まだ入居間もなくで「とりあえず」といった殺風景な居室もあつたりで、様々です。今月誕生日という人の部屋には盛大に飾り付けがあり、職員の熱い気持ちが伝わります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・浴室等共同スペースには「わかりやすい」大きな表示で掲示し、自分で「できること」を減らさないよう自立した生活を支援しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102113		
法人名	医療法人社団 静隆会		
事業所名	グループホーム 市野の家 2号館		
所在地	静岡県浜松市東区市野町287-1		
自己評価作成日	令和1年5月8日	評価結果市町村受理日	令和1年7月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2277102113-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2277102113-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和1年6月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>体カづくり</p> <p>一人ひとりの心身状態、有する力等の現状の把握に努め、体操・運動・散歩・外気浴・学習など、楽しく過ごせるように、個々に応じた支援をしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「人を育てていく」という使命を管理者やリーダーの言動から受けとめることができる、気持ちの良い事業所です。2名の在日ブラジル人を筆頭にその人の個性や特長を踏まえたマンツーマン指導がベースにあり、例えば「会話は少しできる」人と「読み書きはできないが母国での看護師資格をもつ」職員を組む等、ペアでのOJTで介助方法の凸凹を減らしたり、また得意なもので活躍できるように支援しています。昨年来からの身体拘束適正化検討委員会では「指導感が滲んだり、抑圧的な言い方になぜなるのか？」と根源的な領域まで及んで協議できていて、声掛けの工夫で利用者が体操や外気浴に積極的となった嬉しい成果も生まれています。</p>
--

airyokudukuri

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔、優しい対応、家庭のぬくもりと、心の触れ合いを大切に」という市野の家の理念を職員一人ひとりが共有し、地域の皆様との交流を大切にしていきたいと思えます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会に加入しておりますので、地域の行事のお祭りや敬老会にも参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける運営推進会議等で地域の方々や認知症の方々を理解して頂ける機会を設けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、職員も出来る限り参加し、サービスの取り組みの発表をさせて頂いております。また、地域の方やご家族に意見やご指摘を頂ける雰囲気を作るように心掛けております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは定期的に連絡をし、お話しさせて頂き、情報交換や相談を行っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロを掲げておりますので、日々の業務において、絶対に拘束がないようにケアを行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	セミナーや各種講習への参加経験を基にして、常に情報交換をし、介護の質や虐待への理解向上に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者のご家族が後見人制度の手続きをされたい時には、関係機関へのご紹介や、制度の説明をさせて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明の重要性を十分に理解し、入居者様とご家族に疑問点が残らないように心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での皆さんからの意見や、面会に来られた際には、気兼ねなく意見を頂き、改善した点をご報告させて頂いております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を月に一回行っており、意見や質疑を交換しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	認知症に関しての知識を積極的に学び、意見を交換する環境を整えることにより、向上心の持てる職場を目指しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修は全員参加し、新たな情報や知識を共有する環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との繋がりを大切に、頻りに意見の交換をしております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の状況・状態に応じその人らしい生活が継続できるよう、困っている事、不安な事に声を掛け、優しい対応・触れ合いを大切に、より良い関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを導入する段階で、出来る限りの支援をするため、家族と細かに連絡を取り、要望を叶えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と共に必要としている支援を見極め、サービス内容を決めて充実した生活が出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	優しく解りやすく心を込めた言葉遣いに注意をしながら努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族や本人の思いを大切にしながら納得して頂けるまで話し合い、より良い支援が出来るように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩・ドライブ・買い物・レクリエーションなど触れ合いの場を多く心掛けている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立せず、利用者が仲良く過ごす事が出来るよう見守り・声掛けをして、仲間同士の触れ合いの場が多くなるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、電話等で困りごとの相談を受けた時には、出来る限り協力させて頂いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、表情の変化や本人の希望を汲み取るように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サマリーの内容とご家族からの生活歴、意向やご意見などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの生活を理解し、行動、言葉、表情から、その人の現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人からの聞き取りと、ご家族の意向、モニタリングを参考に、職員が記録した個人別介護、カンファレンスでの意見を基に介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスでの意見を基にした実践を参考にし ご本人の様子を見ながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対応して、最適と思われる対応を模索し、支援に取り組んでいる。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	周辺地域の機関からの協力と、ボランティアの協力をいただき、ふれあいを楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常日頃の状態観察のより、異常の早期発見に努め、医師との連携や情報交換がスムーズに行われ、適切な医療を受けられるように支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週二回看護師による訪問があり、日々の心身状態や情報、気づいたことなど伝え、看護支援がスムーズに行えるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族・医療機関との連携を密に取り、早期退院に向けての話し合いを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご本人、ご家族の意向に添いながら、状況によりターミナルケアを行う事もある。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署員指導のもと、年に一度AEDを使った心肺蘇生訓練を行っている。急変時には各館職員が協力し応援にはいる体制を整えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害についてのマニュアルを作成し、年二回防災訓練を欠かさずに行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない声掛けや言葉遣いを心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人の希望や思いが表せるよう暖かく見守り、本人の思いを大切に、自己決定できるように声掛けをするよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい暮らしが出来るよう、決まりや職員の都合は優先せず、ご本人のペースを考え、本人の希望に合った支援ができるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個性を大切に身だしなみやオシャレを楽しむ 清潔感のある服装提供をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃、ご本人が食べたい物や好きな物をお聞きしたり、彩りや盛り付け、味付けも工夫したりアレンジして提供し感想を聞いたりしています。食器の片付け等も出来る方には頂きお礼や労いの言葉をかけています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の必要な分量を把握し、食事の摂取量や水分量を記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きの声掛け、介助、義歯の手入れ等 出来る方は見守りしながら支援している。 口臭や痛みがある時にはかかりつけ医に相談したり、歯科医への受診もしている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄習慣を把握し、自立に向けその人に合った声掛けやトイレ誘導を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の色や形、量のチェックをし記録している。便秘時は日頃の食事や運動量など記録を確認し対応に努めている。		
45	(17)	ou 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の体調に注意しながら、ご本人より希望があればできるだけ添えるよう対応し楽しい入浴になるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の個室や共有スペースのリビングソファで自由に休息して頂いている。夜は個々の習慣や状況に応じ安心して気持ち良く眠れる環境の提供に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬の目的や副作用、用法、用量について把握し、誤薬予防の為4人体制で服薬管理を行い、また症状の変化の確認、記録をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る事、好きな事を探しながら日々の生活中で楽しみ・役割・生きがいを見つけ出し、その時々に応じて嗜好品(コーヒー、ジュース、アルコール、あんぱん等)を楽しんでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り本人の希望に添って買い物や散歩 家族の家など外出を楽しんで頂いている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金については、物のしまい込みや紛失、盗難の恐れがある為、普段は職員が金庫管理していますが、買い物に出掛ける際には職員が見守りする中、本人にお任せしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用、手紙のやり取りは本人の自由にして頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾る、廊下やリビングの壁画作成などを見て季節感を楽しめるように配慮し、心地の良い空間作りをこころがけている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畑での野菜作り、草取り、野菜を収穫したり花を摘んで飾ったり…と、個々に合わせた思いの活動を通じて居場所作りの工夫をしたり、一人でのんびりできる時間を作ったりと本人のペースに合わせて過ごせるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様一人ひとりの好みや使い慣れた物を配置したり安全を考慮し使い勝手の良い空間作りを提案している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の出来る力を活かし、買い物や運動、体操、草取り等自立した活動的な生活が送れる様支援している。端的でわかりやすい会話を心掛けわかりやすい会話をしよう努めている。		

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102113		
法人名	医療法人社団 静隆会		
事業所名	グループホーム市野の家 3号館		
所在地	静岡県浜松市東区市野町287-1		
自己評価作成日	令和1年5月8日	評価結果市町村受理日	令和1年7月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2277102113-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2018_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2277102113-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和1年6月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

私達は入居者様に笑顔で楽しく過ごして頂けるよう、その方のペースに合わせたレクリエーションを個々に行っています。そのレクリエーションを通じて、入居者様と関わりを持ち、出来る力を引き出しながら一緒に楽しみ、信頼関係を築き「その人らしさ」を大切に支援しています。入居者様のご家族からの希望に関してはご家族との話し合いを行い、ご意向に添えるよう対策を取り、活動報告を密にしながらご家族とも信頼関係が築けるよう心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「人を育てていく」という使命を管理者やリーダーの言動から受けとめることができる、気持ちの良い事業所です。2名の在日ブラジル人を筆頭にその人の個性や特長を踏まえたマンツーマン指導がベースにあり、例えば「会話は少しできる」人と「読み書きはできないが母国での看護師資格をもつ」職員を組む等、ペアでのOJTで介助方法の凸凹を減らしたり、また得意なもので活躍できるように支援しています。昨年来からの身体拘束適正化検討委員会では「指導感が滲んだり、抑圧的な言い方になぜなるのか？」と根源的な領域まで及んで協議できている、声掛けの工夫で利用者が体操や外気浴に積極的となった嬉しい成果も生まれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔、優しい対応、家庭のぬくもりと、心の触れ合いを大切に」という市野の家の理念を職員一人ひとりが共有し、地域の皆様との交流を大切にしていきたいと思えます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しておりますので、地域の行事のお祭りや敬老会にも参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける運営推進会議等で地域の方々と認知症の方々を理解して頂ける機会を設けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、職員も出来る限り参加し、サービスの取り組みの発表をさせて頂いております。また、地域の方やご家族に意見やご指摘を頂ける雰囲気を作るように心掛けております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者とは定期的に連絡をし、お話しさせて頂き、情報交換や相談を行っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロを掲げておりますので、日々の業務において、絶対に拘束がないようにケアを行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	セミナーや各種講習への参加経験を基にして、常に情報交換をし、介護の質や虐待への理解向上に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者のご家族が後見人制度の手続きをされたい時には、関係機関へのご紹介や、制度の説明をさせて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明の重要性を十分に理解し、入居者様とご家族に疑問点が残らないように心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での皆さんからの意見や、面会に来られた際には、気兼ねなく意見を頂き、改善した点をご報告させて頂いております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を月に一回行っており、意見や質疑を交換しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	認知症に関する知識を積極的に学び、意見を交換する環境を整えることにより、向上心の持てる職場を目指しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修は全員参加し、新たな情報や知識を共有する環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との繋がりを大切にし、頻りに意見の交換をしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に、今後も安心して生活が出来るようコミュニケーションを密に取り、より良い関係でいられるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接の段階から安心して話して頂けるように気配りをし、より良い信頼関係づくりに努めております。また、入居されてから暫くは細かな事でも連絡させて頂き、ご家族や入居者様のご要望を叶えられるよう努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族と共に話し合いを持って、希望に添った支援が出来るよう努めております。また、ケアプランの内容を確認させて頂き、ご指摘があればよく話し合い改善させて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に本人の思いを大切に、思いやりを持って接するようにしています。入居者様から働いている職員と言うだけではなく、人間味のある一人の人間として暮らしを共にさせて頂いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思い、また本人の思いを常に念頭に置き、話し合いを持ちながら、より良い支援が出来るよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどで、出来る限り入居者様の思い入れのある土地に触れる機会を持ち、また情報を収集する事で会話の中に馴染みの人や場所の話を出すよう心掛けております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った利用者同士の関係などは、より良い関係で居られよう、温かく見守りをしながら支援し、一人で居たいような入居者様にも上手くアプローチし、孤立する事がないよう個々にあったケアをさせて頂いております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、何かあれば連絡を頂くように声をかけております。また、実際に連絡を頂いた時には、出来る限りのご協力をさせて頂いております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情の変化や印象などから、希望や意向を汲み取るように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	可能な限り本人からききとりを行い、家族からも生活歴を伺い、それまでの暮らしになるべく近い生活リズムで過ごしていただいております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの生活リズムを理解し、行動・言葉・表情からその人の現状の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人からの聞き取りとご家族の意向を聞き、モニタリングを参考に、職員が記録した個人別家族記録を反映させ、介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入を行い、日々の様子を把握し、傾向や変化に気づき、それを基に職員間でしっかり話し合うようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の代わりに、受診支援、緊急時の対応、認定調査の立ち会い、個別の買い物支援を柔軟に行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	周辺地域の機関からの協力と理解が得られるようになり、運営推進会議などにも参加をお願いしております。ボランティアの方や地域の人達と触れあえるお祭りなどにも参加しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の状態観察により、体調の把握や異常の早期発見に努め、医師との連携、情報交換がスムーズに行われ、適切な医療を受ける事が出来るように努めています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回看護師による訪問があります。その時に、日々の心身の状態や観察内容を伝え、指示を受けながら入居者が適切な受診や看護を受けられるよう支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医療機関との連絡を密に取り、早期退院に向けての話し合いを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご本人や家族の意向に添い、また状況によりターミナルケアを行う事もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者急変時には、各館の職員が協力し、応援に入る体制を整えております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害についてのマニュアルを用意し、年2回防災訓練を欠かさず行っております。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉遣いや支援を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が今、何をしたいのかを聞きながら、ご本人様が自己決定できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の仕事や都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや体調を大切にしながら本人の希望に添って自由に過ごせるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい個性を大切に身だしなみや、お洒落を楽しんでおります。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろんの事、盛り付けにも気を配っております。お好きな物を聞き、日曜日のメニューに取り入れております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お食事の摂取量や水分量を常に記録し、変化がないか気を配っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨きの声掛け、介助、義歯の手入れを行なっております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄習慣を把握し、声掛け、トイレ誘導、介助を行い、自立に向けた支援を心掛けております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を確認しながら、毎日の排便状況を把握しています。また、便秘予防を兼ね、散歩、ラジオリハビリ体操等を取り入れております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の体調等に注意をしながら、ご本人の希望があれば出来るだけ入浴してもらるように支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室やリビングのソファで自由に休憩を取って頂き、夜間は安心して気持ちよく眠れるように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬の目的や副作用、用法、用量について把握し、誤薬予防のため、4人体制で3回の服薬確認を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る事、好きな事を探しながら、生きる喜びや張り合いのある生活が出来るように支援しております。また、コーヒーやココアなど、好みに応じて時々提供しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り本人の希望に添って、コンビニ等での買い物や、庭での外気浴、散歩等、外出をして頂いております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は紛失、盗難の恐れがある為、職員が管理しています。が、買い物に出掛けた時には、職員が見守るなか、本人から支払いをしていただくようにしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、電話とも、いつでも自由に書いたりかけたりする中で、大切な方々とのご縁が切れないように支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花、植物を生けたり、写真・絵・工作等にも季節感を取り入れ、1、2カ月ごとに新しい掲示物に変えております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入所者様同士で過ごして頂ける環境を整え提供し、支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、使い慣れた布団や枕、好みのお茶碗、お湯のみ等を持って来て頂き、安心して居心地よく過ごせるように支援をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレを示す表示、居室前の名札等、入居者様にわかりやすいように設置方法、文字のサイズなどを工夫しております。		